

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年6月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	46994400021
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	ひだまりの家こもれび
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈徳辺1656 (電話) 0995-26-1138
自己評価作成日	平成30年5月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年6月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・一人一人と向き合い、しっかりと聞き取り、解決の為にスタッフ全員で取り組んでいけるよう、情報の共有を申し合わせ、日々努力している。
- ・一人一人の出来る事を引き出しながら活動に取り入れ、楽しみのある生活になるよう取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伊佐市菱刈の、のどかな自然環境に恵まれた地区にあり、同敷地内にはデイサービスと有料老人ホームも併設されている。開設当初より地域との交流はあり、地域から「支援センター」の看板を頂き信頼関係は十分に築かれている。ホームとの合同の運動会では地域からの参加者が多く、地域の活性化へも繋げられている。地域とは日常的な交流や野菜等を頂いたり、ホームの行事に参加を頂くなど、協力的で良好な関係が築かれている。

毎日の散歩や毎月の外出などで、ホームに閉じこもらない生活を支援している。

職員の育成にも力を入れており、内部研修や外部研修にも積極的に参加し質の向上に取り組んでいる。また職員の資格取得も支援している。

利用者は毎日の生活支援に満足されている様子で、表情も明るく広いリビング内には笑い声が絶えまなく聞こえ、理念の中の「ゆっくり、ゆっくり 家庭的な環境の中で あなたが穏やかに 笑顔で過ごせるように」を実現しているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	新しいスタッフには初期に伝え、繰り返し振り返りながら取り組んでいる。	理念はホーム内に掲示され、会議や朝礼で職員は振り返っている。理念とは別に毎年1月に目標を決め、年末に評価している。理念と目標を全員で共有しながら実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	何かの時にお互い声をかけながら交流をしている。	自治会に加入し、総会への出席・清掃活動への参加・ボランティアの受入れ、また野菜の差し入れもある。法人主催の運動会には地域からの参加者も多い。避難訓練や夏祭りは地域との合同での開催である。ホームは地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	必要に応じて交流を通して伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状報告と、その時その時の話題や困り事などを取り上げ、意見交換をし、取り組みの参考にしている。	定例化された会議には地域代表・家族・行政・民生委員他決められた関係者が出席し、ホームの現状報告や研修報告また意見交換の場となっている。年2回は家族行事と一緒に開催しているので家族の参加も多い。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>疑問点などをすぐに電話で問い合わせたり、意見を求めたりして協力を頂いている。</p>	<p>相談や疑問があれば窓口に出向いたり電話で問い合わせるなどしている。運営推進会議や2ヶ月毎の地域密着型連絡協議会にも参加があり情報交換に繋げているなど、良好な協力関係が築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>行わないことで申し合わせ、ミーティングや拘束委員会などで振り返り確認をしている。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会が3ヶ月毎にある、毎月のミーティングでの勉強会で職員もその意識度は高い。スピーチロック他すべてに対してその場で話し合い解決している。「気づきノート」の活用など拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は施錠せず職員間の見守りと連携で自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日々振り返り、確認をしながら努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現状では事例も無く、行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時にひと通りの説明を行い、確認・同意を頂いており変更点などは文章や家族会などで説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会や電話等で対応をし、心がけて声かけを行っている。</p>	<p>面会時や電話連絡、また年2回の家族会は運営推進会議と一緒に開催し参加者も多く、意見要望の聞き取りの場となっている。出された意見要望はその都度解決するようにし、サービス向上に繋げている。ホームからの便り「今月のおとうさん・おかあさん」の報告は家族にも喜ばれている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見には耳を傾け、確実に答えを伝えるようにしている。</p>	<p>毎月のミーティングでは現場からみた意見や提案が出され話し合い、運営に反映している。職員の資格取得にも法人は理解があり、協力体制が出来ている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>考課表を用いた自己評価と所属長評価などをもとに、処遇を含めた職場環境の改善に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>近隣で行われる外部の研修へ参加の機会をもうけたり、働きながら資格取得を目指す職員に対し、資金的な支援も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>本市の地域密着型サービス連絡協議会に参加し、保険者や他事業所との情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>しっかりと寄り添い、耳を傾け、解決しながら生活できるよう関係作りにも力を入れている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>十分な説明、声かけを心がけている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>しっかりと話を聞き、検討し柔軟な対応を心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>できる事を見極め、できない所を助け、生活を支えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報の共有をするように心がけ、家族の関係が途切れないよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	長くなると継続にも限りがあるが、可能な限り対応している。	馴染みの美容室を利用される方や、病院受診時に家族と会う機会を設けたり、携帯電話で家族や知人と話される方など馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。遠方から年2回運営推進会議に合わせて帰省される家族もおられる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれに応じて環境の調整をしながら、必ずスタッフが加わり、共に生活をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて面会や電話等で支援を続けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話を中心に、希望などを聞き取り、実現へ向けて取り組んでいる。	職員は利用者の日々の暮らしの中の、表情やしぐさ行動から思いや意向の把握に努めている。家族からの情報収集や、失語症など思いを発せない方へも「思いの把握・思いのつづりノート」に職員全員が書き込み情報を共有し把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や関係者へ話を聞きながら努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状況・場面に応じて見極めながら支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで情報の共有をし、意見を出し合っている。	毎月のミーティングやモニタリングで職員全員で意見を出し合い、個別のプラン・家族の支援・レクリエーションや楽しみも取り入れ、現状に即した介護計画書を作成している。見直しは3ヶ月、変化があればその都度行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付きシートを活用したり、朝晩の申し送りで状況の把握をして、必要に応じた対応をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	いろいろな対応が出来るよう、法人で取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で安心した生活ができるよう取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人のかかりつけ医との関係を継続し、必要に応じた医療を受けけている。	本人・家族の望むかかりつけ医となっている。定期受診は職員が連れていき、変化があれば報告している。協力医療機関との24時間の協力体制もあり、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>必要に応じて相談アドバイスを受け、健康を維持できるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>可能な限り相談をし、理解と協力をお願いしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>段階に応じて必要な説明を行い、意志の確認をして、支援を検討している。</p>	<p>入所時に重度化や終末期にむけた方針は説明している。ホームでの看取りを望む家族が多く、看取りの事例もあり、意思確認書の取り交しもその都度行っている。家族会では改めて家族に確認している。職員は看取りに入ると態勢を整え、家族の意思に沿って支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日々話題にあげ、実践で困らないように努力を続けている、</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>訓練等を通して申し合わせている。</p>	<p>消防署立会いでの訓練と自主訓練を地域の住民と共に、敷地内の併設事業所と一緒にしている。地域とは互いを救助する体制や災害時における地域との協力体制は築かれている。災害時の食料の備蓄や一人テントも準備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の中で声をかけ合い、振り返りを行っている。	研修は年間計画にもあり、ミーティング時に勉強会も行っている。トイレへの言葉かけの対応については特に気をつけている。管理者は日常の会話の中で気づいた時にはその都度指導し、職員間でも注意し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必ず了解を得てから行うよう申し合わせを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に流れがちな時も、振り返り検討を重ねている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	可能な限り、取り組んでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	環境を整え、楽しみとなるよう話し合いながら取り組んでいる。	献立はその日の担当が利用者と決めている。地域の方から旬の新鮮な野菜を頂き料理し季節を感じている。力量のある利用者は職員と一緒に下ごしらえをしたり個々に役割があり楽しみながら準備をしている。弁当持参の外出も多くまた誕生日にはその方の好きな献立を提供している。味噌・ちまき・そば打ち等季節の物を作っている。外食に家族と出かける利用者もおられる等食事を楽しむ支援が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録を元に共有をし、必要に応じて早めの対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に応じて対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターン、本人の能力に応じて、その都度検討している。	排泄チェック表を活用しているが、全職員は全利用者の排泄リズムを理解しており、利用者の表情や様子を見ながら支援している。尿意のある方も多く、入所後の自立度も高い。トイレでの排泄や排泄に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じた支援内容を共有し、改善へ向けて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の確認の上、状況に応じて支援している。	基本的には毎日の入浴支援であるが、利用者の希望や身体状況に応じて柔軟に対応している。利用者に合わせての職員の声掛けで入浴をためらう方はいない。入浴剤を使うなど入浴を楽しむことができるよう個々に応じて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースに合わせ、日中から状況に合わせて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必要に応じて周知し、確実に管理するよう心がけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割を分担し、変化のある毎日を心がけながらも、負担にならないよう注意している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の状況に応じて対応をし、季節毎の外出を心がけている。	日常はホームの周りの散歩を楽しんでいる。月に1回は季節に応じて花見・ソーメン流しや鯉のぼり見学・紅葉狩り・曾木の滝等全員参加で外出している。家族の支援で墓参りや美容室・外食また自宅へと外出される方もおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	家族の管理		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	電話での交流は少ない。手紙などはそれぞれに合わせて対応している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	体感と湿度計を確認しながら調整をしている。	リビングは居室やベランダまで見渡せる事で職員の目が届いている。法人内の文化祭に出品した手作り作品の掲示や、行事での写真が飾られている。花や季節の利用者の手作り作品も飾られ季節を感じる事が出来る。明るく爽やかな共用空間は、居心地よく過ごせる工夫をされている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	今の状況、その日の気分に応じて対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と協力して行っている。</p>	<p>利用者や家族の意向で仏壇や壁時計など好みの物を持ち込まれる方や、家族の写真や手作り作品を飾られるなど、本人が安心安全に居心地よく過ごせる工夫をしている。ホームでは居室の匂いには特に配慮し、特に寝具等は天日干しに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>状況に応じて細かに対応している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない